

かき栽培情報第1号

令和6年5月16日
J A 氷見市
富山高岡農林振興センター

■ 1 概況

本年のかきの生育は平年よりやや早いとみられ、6月上旬頃に満開になると予想されます。

■ 2 今後の病害虫防除

開花期前後は、落葉病、カキノヘタムシガ、カキクダアザミウマの重要防除期です。下記を目安に防除を行いましょ。

なお、今後の気象条件や標高により開花期が前後する場合がありますので、開花状況に合わせて散布時期を調整してください。

時 期	対象病害虫	散布薬剤名	希釈倍数	10a 当 散布量	100㎡当 必要薬剤(g,cc)
5月26～ 28日頃 (開花前)	落葉病、灰色かび病 かキノヘタムシガ、かキクダアザミウマ、 ハマキムシ類 (展着剤)	フロンサイドSC	2,000倍	300㎡当	50cc
		アタブロンSC	4,000倍		25cc
		マイリノー	10,000倍		10cc
6月10～ 12日頃 (落花後)	落葉病、炭疽病 かキノヘタムシガ、かキクダアザミウマ (展着剤)	ストロビードライフロアブル	3,000倍	300㎡当	33g
		オルトラン水和剤	1,500倍		66g
		マイリノー	10,000倍		10cc

※農薬の使用前には必ずラベルを確認し、農薬の安全使用基準を守り、安全・安心なかきを生産しましょう。

※防除は天気予報を参考に、降雨に影響されない日に散布してください。

※薬剤は散布ムラが無いよう丁寧に、十分な量を散布してください。

※園外や他作物への飛散が無いように、注意して散布してください。

〈カメムシ類の防除〉

本年のカメムシ類(写真)の発生量は、やや多いと予測されます。園地へのカメムシの飛来が確認された場合、ダントツ水溶剤(4,000倍、7日前まで、3回以内)またはモスピラン顆粒水溶剤(4,000倍、前日まで、3回以内)を速やかに散布してください。



写真 カメムシ類

左：チャバネアオカメムシ成虫(体長10～12mm)

右：クサギカメムシ成虫(体長13～18mm)